



## 革にこだわるエルデの靴

「雨に濡れても丈夫で、軽くて楽」なスニーカー。素材は石油製品で、作っているのは貧困な国々の女性や子供たち。有害な接着剤を多用し、作る過程でも廃棄されても、働く人や環境に深刻な害を及ぼしています。世界中で年間242億足も作られ、安いからと、どんどん捨てられているのです。

一方、エルデの靴は、歩くための、体を支えるための機能を重視する観点から、また環境の面からも、できるだけ化学薬品を使わずに作られた「革」にこだわっています。

革は、天然素材のコラーゲン線維の束が立体的に絡まった構造になっていて、高い吸湿性と放湿性があり、かいた汗を吸収し発散してくれます。さらに、優れた柔軟性、弾力性があるので、足の動きに応じて伸縮することで、足に馴染み、足の形に合わせて伸びてもくれます。

最近のスニーカーのストレッチ素材は、軟らかくて楽な気がしますが、足や体を支える形状維持性がありません。楽なスニーカーばかり履いていたら、O脚や足の変形が進んでしまったという方の来店が、最近増えています。

## 時々、靴のお手入れを

そんな革の特性を長く保つには、やはりお手入れが大切。雨に濡れた時はもちろん、汗をかきやすいこれからの季節、風通しの良い所で陰干しの上、クリームでお手入れをしておけば、雨に遭っても水の染み込みが全く違います。

### タピール・フレーゲクリーム



十九世紀の古いレシピを再現し、天然素材のみで作られた、優れたもののドイツ製靴クリーム。

¥ 1,760